

かなしみをこえたお母さん

佐賀県 佐賀大学教育学部附属小学校 三年 溯上^{ふちがみ} 大梧^{だいご}

ぼくのお母さんにはお母さんがいない。

お母さんがお父さんとけっこんして一年もたたない時に、

びょうきであつという間になくなってしまった。

お母さんはあつという間のできごとで、もう二度とわらえる日はこないと思ったそうだ。

だけど、今のお母さんを学校で思い出すとわらった顔しか思いうかばない。

ぼくがおなかにやってきて

ずっとお母さんになりたかったお母さんはけっこんして6年もかかってお母さんになった。

ぼくは、ぼくが生まれた時のお母さんの気持ちを

聞くのが好きだ。

いつも

うれしくてうれしくてびょういんの先生がびっくりするくらい大泣きした

と言う。

ぼくが生まれて妹が生まれて、

お母さんはいつもわらっているお母さんになった。